JETRO

海外発トレンドレポート
（2024 年度現地ニーズ等活用促進事業）

ジェトロ・クアラルンプール事務所
2024 年 10 月 18 日作成

マレーシアにおける子育て関係用品市場調査（マレーシア・クアラルンプール発）

1．サマリー

マレーシアの子育て関係用品市場は年々拡大しており、特に都市部での需要が増加している。2041 年まで出生数も増加する見込みであることから、子供の数が増える状況が続く。さらに、都市化・女性の社会進出の促進に伴い、子育てに対する支出が増え、品質の良いものや便利なものがよく売れている。さらに EC サイト上でのオンライン購入も拡大する傾向にある。マレーシアにおいては、ローカルブランドよりも欧米ブランドの方が、価格は高くとも高品質だと認識されており、人気も高い傾向にある。日本商品の展開は、首都クアラルンプールを中心とした都市部の 20～40 代の母親をメインターゲット層とし、現地小売店や販売代理店と協力しながら売り場を確保、ブランド認知度を向上させながら、品質や機能面を訴求して販売していくことが重要となる。

2．市場規模・成長見通し

子育て関連用品全体の市場は、出生数や人口の増加、都市化などの影響で今後さらなる成長が見込まれている。各調査会社の予測に基づけば、複数の商品カテゴリで、2029 年までに年平均成長率が 4%を超える見込みである。主な商品別の市場規模は次の通りである。

商品カテゴリ	市場規模	成長率（年平均成長率）
洋服[1]	8,989 万米ドル（2024 年）	4.77%（2028 年まで）
おむつ[2]	4.3 億米ドル（2024 年）	6.17%（2029 年まで）
スキンケア[3]	6,830 万米ドル（2024 年）	3.69%（2028 年まで）
ベビーフード[4]	6.65 億米ドル（2024 年）	4.38%（2029 年まで）
知育玩具[5]	2.65 億米ドル（2024 年）	1.74%（2028 年まで）

図表 1　主な商品別市場規模および年平均成長率

出所：Statista、Mobilityforesights

またマレーシアの出生数は、2041 年まで増加を続け、約 467 千人をピークに、それ以降は減少する見込みである。

[1] https://www.statista.com/outlook/cmo/apparel/children-s-apparel/baby-clothes/malaysia
[2] https://www.statista.com/outlook/cmo/tissue-hygiene-paper/baby-diapers/malaysia
[3] https://www.statista.com/outlook/cmo/beauty-personal-care/skin-care/baby-child/malaysia
[4] https://www.statista.com/outlook/cmo/food/baby-food/malaysia
[5] https://mobilityforesights.com/product/malaysia-educational-toys-market/

Copyright © 2024 Japan External Trade Organization (JETRO). All rights reserved.

３．国内生産／輸入状況

国内生産は限定的であり、多くの製品は海外からの輸入に依存している。主な輸入相手国は中国や近隣アジア諸国である。一方で、デザイン性の高い商品や歴史のあるブランドなどは欧米からの輸入品が流通している。また最近は、後述するようなマレーシア企業が海外で生産して輸入する事例も出てきており、市場の成長に合わせて様々な商品が輸入されている。

商品カテゴリ	HS コード（参考）	HS コード分類（参考）	輸入相手国・地域（カッコ内は輸入額上位 3 位）	輸入額（リンギ※）
哺乳瓶（プラスチック）	3924901000	プラスチック製の食卓用品、台所用品その他の家庭用品及び化粧用品	18 カ国（中国、トルコ、インドネシア）	0.07 億
哺乳瓶（ガラス）	7013490000	食卓用、台所用、便所用、事務用、室内装飾用またはこれらに類するガラス製品	38 カ国（中国、米国、フランス）	1.24 億
ベビーカー	8715000000	ベビーカーおよびその部品	25 カ国（中国、インドネシア、台湾）	1.96 億
チャイルドシート	9401800000	腰掛け（寝台として兼用することができるものであるかないかを問わないものとし、第 94.02 項のものを除く。）及びその部分品	38 カ国（中国、日本、イタリア）	1.09 億
抱っこ紐	6111	乳児用の衣類及び衣類附属品（メリヤス編み又はクロセ編みのものに限る。	66 カ国（中国、バングラデシュ、インド）	0.91 億
おむつ（使い捨て）	961900	生理用タオル（パッド）、タンポン、ベビー用ナプキン、ナプキンライナー、およびあらゆる素材の類似品。	39 カ国（中国、ベトナム、タイ）	8.19 億

Copyright © 2024 Japan External Trade Organization (JETRO). All rights reserved.

おむつ（繊維製）	611120	綿製品	59 カ国（中国、バングラデシュ、インド）	0.76 億
ベビーフード	40210	粉状、粒状その他の固形状のもの（ベビー食品に限らない）	30 カ国（ニュージーランド、米国、フィンランド）	15 億
ベビー洋服（ニット製品）	611120	綿製品	59 カ国（中国、バングラデシュ、インド）	0.76 億
ベビー洋服（繊維製品）	620920	乳児用の衣類、衣類附属品	53 カ国（中国、香港、インド）	0.35 億
ベビースキンケア	3304999000	クリームその他油、脂又はろうをもととした調製品（ベビー向けに限らない）	75 カ国（シンガポール、米国、韓国）	18 億
知育玩具	9503009100	三輪車、スクーター、足踏み式自動車その他これらに類する車輪付き玩具、人形用乳母車、人形、その他のがん具、縮尺模型その他これに類する娯楽用模型（作動するかしないかを問わない。）及びパズル	15 カ国（中国、ベトナム、インドネシア）	0.37 億

※　1 リンギは約 35 円で計算

図表 2　主な商品の輸入額と輸入相手国

出所：マレーシア統計局

Copyright © 2024 Japan External Trade Organization (JETRO). All rights reserved.

4．主要メーカー／ブランドと価格帯

ニールセンの調査によれば、80 %以上のマレーシア人は、幼児用おむつや食品は海外ブランドを好むとされる。

ブランド名	商品	価格（リンギ）
Johnson’s	ベビーローション	18.45
Johnson’s	バスミルク	25.20
Johnson’s	ボディーウォッシュ	21.84
Pureen	おしりふき	57.50
Pureen	ボディーウォッシュ	10.00
Pureen	ベビーローション	16.10
Carrie	ボディーウォッシュ	8.93
Carrie	ベビーローション	20.48
Carrie	ベビーオイル	7.03
Anakku	洗剤	20.00
Anakku	おしりふき	13.00
Anakku	ボディーウォッシュ	15.00
Anakku	哺乳瓶	62.00
Anakku	ベビーカー	299.00
Anakku	チャイルドシート	299.00
Anakku	抱っこ紐	65.90
Anakku	洋服	15.00～

図表３　ブランド別商品と価格例

出所：Guardian、Shopee、Anakku

5．売れ筋、最新トレンドと価格帯

共働きの増加や都市化によってライフスタイルが変わり、お金はあるが、時間のない母親が増えている。そのため、価格も重要であるが、商品は丈夫かつ簡単に子供の世話をできるような、革新的でより便利なものを求める人が増えている。また、若い親世代は健康意識が高く、特に皮膚アレルギーや過敏症などがある子供のために、化学成分の少ないベビー用スキンケア商品やトイレタリー製品、オーガニックの布地・生地を選ぶ傾向がある。

多店舗展開している専門店や、首都クアラルンプールにある子育て関連用品の売り場で売れ筋やトレンドをインタビューした結果は次の通り。

Copyright © 2024 Japan External Trade Organization (JETRO). All rights reserved.

Mothercare

妊婦や乳幼児、子供向けの商品を幅広く扱う英国発の店舗。1987 年にマレーシアに進出し、現在 21 店舗を展開。

商品カテゴリ	ブランド名（国）	価格（リンギ）
哺乳瓶	Hegen（シンガポール）	96.9
哺乳瓶	Phillips（オランダ）	90.0
ベビーカー	Joie（英国）	899.0
ベビーカー	Bugaboo（オランダ）	2,699.0
ベビーカー	Fairworld（マレーシア）	999.0
チャイルドシート	Joie（英国）	599.0
チャイルドシート	Snapkis（シンガポール）	299.0
洋服	Mothercare（英国）	15.0～
おむつ	Offspring（マレーシア）	49.0
おむつ	Applecrumby（マレーシア）	69.9
玩具	木製、パズル、学習用	6.3～

図表 4　カテゴリ別売れ筋商品（Mothercare）

出所：インタビュー

海外ブランドは高品質なイメージがあるため販売数が伸びている。また、環境に配慮したエコフレンドリー商品も販売数が伸び始めた。おむつはいずれもマレーシア発のブランドであるが、環境に配慮した商品のため売れ筋がよいとのこと。洋服は肌触りがよく、涼しいコットン 100%素材の販売数が伸びている。

BabyShop

アラブ首長国連邦発のベビー・子供向けの商品をワンストップで提供する店舗。2018 年にマレーシアに進出し、現在 17 店舗を展開。

商品カテゴリ	ブランド名（国）	価格（リンギ）
哺乳瓶	Pigeon（日本）	71.5
ベビーカー	Koopers（英国）	899.0
ベビーカー	Joie（英国）	599.0
洋服	Juniors（Babyshop のプライベートブランド）	9.0～
洋服	giggles（同上）	25.0～
おむつ	Offspring（マレーシア）	49.0
玩具	Juniors	19.0～

図表 5　カテゴリ別売れ筋商品（Babyshop）

出所：インタビュー

Copyright © 2024 Japan External Trade Organization (JETRO). All rights reserved.

はじめて子供を持つ顧客が多く、ブランド認知度の高い商品か、価格が安い商品が購入される傾向がある。Pigeon は日本ブランドかつ歴史あるブランドとして人気が高い。また最近のトレンドとして、マレーシアブランドの品質やデザイン性が上がったことで、海外ブランドよりも選ばれる傾向が強まっている側面があるという。ベビーカーは、もともと Joie が人気であったが、最近はマレーシアブランドの Koopers の購入が増えている。おむつもマレーシアブランドの Offspring が人気である。価格を重視する人は、同社のプライベートブランド品を購入することが多い。

HappiKiddo

マレーシア発の妊婦・ベビー・子供向けの高品質かつ革新的な商品を提供するコンセプトベビーショップ。商品をワンストップで提供する店舗。
2011 年にマレーシアで設立され、現在 17 店舗を展開。

商品カテゴリ	ブランド名（国）	価格（リンギ）
哺乳瓶	Hegen（シンガポール）	106.9
ベビーカー	Bugaboo（オランダ）	2,699.0
ベビーカー	NUNA（オランダ）	2,499.0
ベビーカー	Stokke YOYO（ノルウェー）	1,499.0
ベビーカー	Hamilton（中国）	2,199.0
チャイルドシート	Daiichi（韓国）	1,399.0
洋服	Gobabygo（デンマーク）	49.0～
洋服	Akarana(ニュージーランド)	55.9～
おむつ	Offspring（マレーシア）	49.0
おむつ	Applecrumby（マレーシア）	69.0
おむつ	Hoppi（シンガポール）	39.9～
玩具	これといったブランドはなくパズルや学習用	7.15～

図表 6　カテゴリ別売れ筋商品（HappiKiddo）

出所：インタビュー

高品質な商品を求める顧客が増えている。子供向け商品ということで、品質・安全性を求める顧客が多い。また、特に若年層では、ブランドよりも品質やデザイン性を重視する傾向が強い。ベビーカーでは最近は Hamilton が人気で、デザインと機能面（片手で簡単に折りたためる）が評価されている。ベビーシートでは Daiichi が、安全性と機能面（持ち運びができる）で評価され、人気があるとのこと。

Copyright © 2024 Japan External Trade Organization (JETRO). All rights reserved.

６．日本製品のターゲットとなる購買者／ユーザー層と購買行動

日本製品のターゲットとしては、都市部に在住する 20～40 代の親、特に共働きで世帯収入が高く、子育てや仕事で忙しい家庭が対象となると考えられる。このような顧客層は、ネット上での情報収集に熱心であり、これに呼応してオンラインでの購入率も高い。

このような背景から、小売店や販売代理店と協力し、上述の多店舗展開している専門店や首都クアラルンプールにある子育て関連用品の売り場、オンラインショップの売り場を確保することが重要である。また、ソーシャルメディアサービスを活用したブランディングや商品情報を発信し、ブランドの認知度を向上しながら、品質や機能面を訴求することも重要となる。

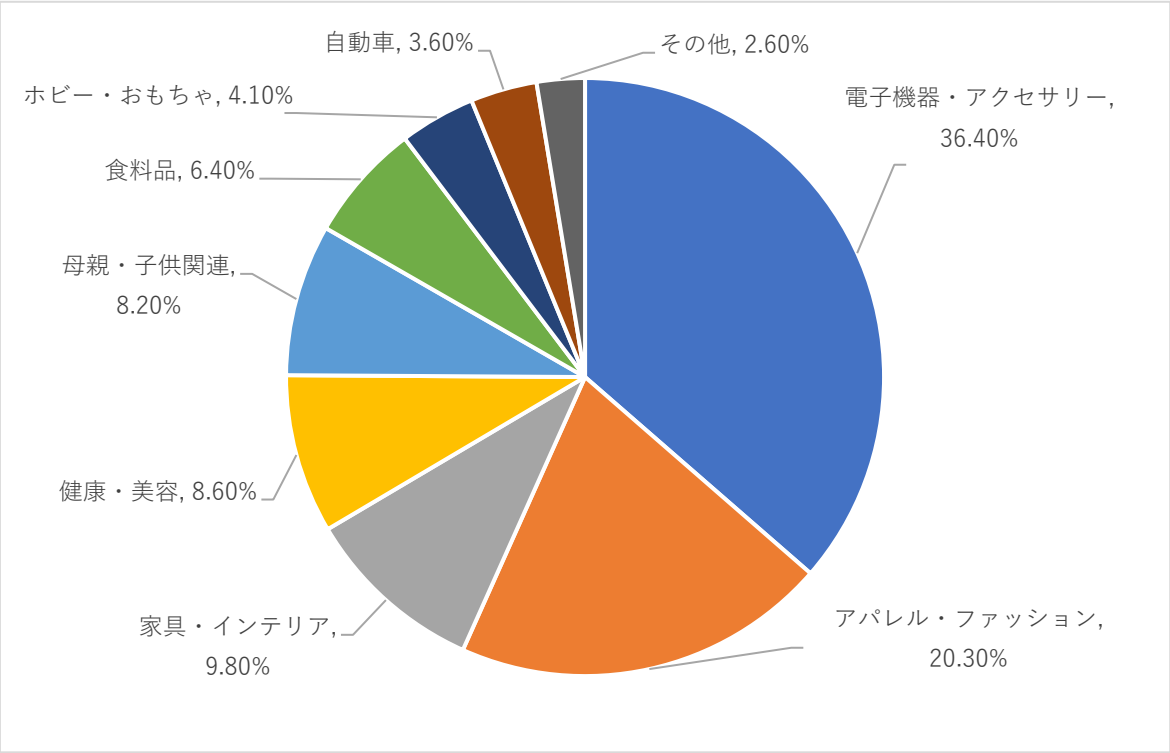
州・地域	世帯収入の中央値（リンギ）
Kuala Lumpur: クアラルンプール	10,234
Putrajaya: プトラジャヤ	10,056
Selangor: セランゴール	9,983
Labuan: ラブアン	6,904
Johor: ジョホール	6,879
Penang: ペナン	6,502
Melaka: マラッカ	6,210
Negeri Sembilan: ネグリ・センビラン	5,226
Terengganu: トレンガヌ	5,878
Pahang: パハン	4,753
Perlis: プルリス	4,713
Sarawak: サラワク	4,978
Sabah: サバ	4,577
Perak: ペラ	4,494
Kedah: クダ	4,402
Kelantan: クランタン	3,614

図表 7　マレーシアの州別世帯収入（2022 年）

出所：DOLLARA AND SENSE MALAYSIA をもとに作成

世帯収入は、首都クアラルンプールが 1 万 234 リンギで最も高く、次に行政都市プトラジャヤが 1 万 56 リンギ、首都近郊のスランゴール州が 9,983 リンギと続く。

Copyright © 2024 Japan External Trade Organization (JETRO). All rights reserved.



図表８　オンラインプラットフォーム Shopee マレーシアのカテゴリ別売上

出所：TMOGROUP のデータをもとに作成

マレーシアで月別アクティブユーザー数が多いオンラインプラットフォーム、Shopee において、母親および子供向け商品の売り上げは品目別で 5 番目に大きく、8.2%のシェアを占める。

７．主な流通ルート・輸入・卸会社

商品の流通ルートとしては、代理店や卸売会社が小売店へ納入しているケースが多い。なお、輸入商品は輸入商社兼卸売会社が小売店へ販売している。

上述の店舗に納入している卸売会社は次の通り。

販売店舗	卸会社（本社国籍）	取り扱い商品カテゴリ・ブランド
Mothercare	KIM HIN JOO BERHAD（英国）	洋服、スキンケア商品、抱っこ紐
Mothercare	Global Product Solution Sdn Bhd（英国）	哺乳瓶、抱っこ紐、離乳食調理トレー
Mothercare	Bio Vigor Sdn Bhd（マレーシア）	ベビー用食器
Mothercare	PHILLIPS MALAYSIA SDN BHD（オランダ）	哺乳瓶
Mothercare	Pigeon Malaysia（日本）	哺乳瓶ほか

Copyright © 2024 Japan External Trade Organization (JETRO). All rights reserved.

BabyShop	Landmark group（アラブ首長国連邦）	giggles・junior 製品
BabyShop	Pegion（日本）	哺乳瓶ほか
HappiKiddo	Character World Enterprise（マレーシア）	洋服
HappiKiddo	Happi Malaysia（マレーシア）	おむつ
HappiKiddo	Petit Label Sdn Bhd（マレーシア）	ベビー用食器
HappiKiddo	GBS Marketing Sdn Bhd（マレーシア）	おもちゃ

図表 9　輸入・卸会社

出所：インタビュー

8．関連規制、規格・認証等

マレーシアの子育て関連商品および知育玩具においては、製品の安全性や品質を確保するため、いくつかの関連規制、規格、認証が設けられている。

・SIRIM（Standards and Industrial Research Institute of Malaysia）認証

マレーシア国内で販売される玩具や育児用品は、SIRIM による品質・安全性評価を受ける必要がある。この認証は、製品がマレーシアの安全基準を満たしていることを示し、特に子供向け製品の安全性を保証するために厳格なテストが行われる。

・玩具の安全基準（ASTM F963 および EN71）

マレーシアは国際基準（ASTM F963 やヨーロッパの EN71 規格）に基づき、玩具の安全性を確保している。物理的および機械的特性、可燃性、化学物質の含有量などの検査が含まれ、知育玩具も対象となる。

・製品表示義務と輸入通関手続き

マレーシアでは製品にラベルを貼付することが義務づけられている。子供向け製品には成分表示、安全上の注意事項、対象年齢などの情報が求められ、法的に義務づけられた表示内容に沿う必要がある。

輸入販売する商品によって求められるものが変わるため、輸入商社や販売代理店と連携し必要な認証等を確認の上、輸入手続きを行う必要がある。

以上

〇作成：ジェトロ・クアラルンプール事務所

Copyright © 2024 Japan External Trade Organization (JETRO). All rights reserved.

【レポートの利用についての注意・免責事項】

本レポートは、日本貿易振興機構（ジェトロ）クアラルンプール事務所が五木田貴浩氏に作成委託し、2024 年 10 月に入手した情報に基づき作成したものです。掲載した情報は作成委託先の判断によるものですが、一般的な情報・解釈がこのとおりであることを保証するものではありません。本レポートはあくまでも参考情報の提供を目的としており、提供した情報の正確性、完全性、目的適合性、最新性及び有用性の確認は、読者の責任と判断で行うものとし、ジェトロは一切の責任を負いません。これは、たとえジェトロが係る損害の可能性を知らされていても同様とします。

【レポートの内容に関するお問い合わせ先】

ジェトロ・海外展開支援部中堅中小企業課プラットフォーム班　platform-bda@jetro.go.jp

◆「海外発トレンドレポート」読後アンケートにご協力ください◆

本レポートは皆様の海外ビジネスにお役に立ちましたでしょうか？

今後の参考のため、役立ち度アンケートにご協力頂けましたら幸いです。

（所要時間：約1分）

Copyright © 2024 Japan External Trade Organization (JETRO). All rights reserved.